



2023年 12月 27日
全日本空輸株式会社
ANA X 株式会社
九州旅客鉄道株式会社

ANA と JR 九州による航空と鉄道のコラボが実現！

「コラボで見せます！鉄道と航空の最新技術と舞台裏体験ツアー」

- 旅行を楽しみながら、飛行機・鉄道における「環境への取組み」・「最新技術」を学び、体験できるツアーを 12 月 27 日より発売します。
- 西九州新幹線 大村車両基地では、JR 九州の車両社員による解説とともに見学ができます。
- 加えて、「ANA Blue Hangar」では、格納庫ならびに空港で働く車両の最新技術の見学や、ANA 日本最大級の訓練施設「ANA Blue Base」での見学がセットになった、鉄道と航空の舞台裏を見学できるツアーです。

全日本空輸株式会社（代表取締役社長：井上慎一、本社：東京都港区、以下「ANA」）と ANA X 株式会社（代表取締役社長：轟木 一博、本社：東京都中央区、以下「ANA X」）、九州旅客鉄道株式会社（代表取締役社長 執行役員：古宮 洋二、本社：福岡県福岡市、以下「JR 九州」）は、航空と鉄道のコラボレーション企画として、国内ツアー商品「コラボで見せます！鉄道と航空の最新技術と舞台裏体験ツアー」を、12 月 27 日（水）14:00 より発売します。

【詳細 URL】 https://www.ana.co.jp/ja/jp/domestic/theme/tetsudo_koku_korabo_2023/



当商品は、家族向け・交通ファン向けに、旅行を楽しみながら飛行機・鉄道における環境への取組みや、最新技術を学び、体験できるツアー内容となっております。

長崎では、大村車両基地にて JR 九州の車両社員による解説とともに見学します。2 日目は、「ANA Blue Hangar」にて EV 車両や格納庫の見学、ANA の訓練施設「ANA Blue Base」の見学もご用意しております。

ANA と ANA X および JR 九州は、今後も観光産業の発展に向けて商品やサービスを各社企画し、お客さまへお届けしてまいります。





【商品概要】

発売日時： 2023年12月27日(水) 14:00
 プラン詳細： コラボで見せます！ 鉄道と航空の最新技術と舞台裏体験ツアー
 往復航空券+宿泊、ならびに「大村車両基地見学」と「羽田空港での格納庫見学」、
 「ANA Blue Baseの見学」と「羽田エクセルホテル東急の昼食」がセットになっているプラン
 ※最少催行人員：15名
 日程： 2024年2月17日(土) 出発 ~18日(日) 到着
 出発・到着空港： 羽田空港
 販売価格： 2名1室利用 お一人様あたり 49,800円
 1名1室利用 お一人様あたり 54,800円
 小人 お一人様あたり 49,800円
 申込方法： 専用サイトよりご確認ください。

https://www.ana.co.jp/ja/jp/domestic/theme/tetsudo_koku_korabo_2023/

行程：

日程	行程	食事
1日目	羽田空港第2ターミナル(11:05発) <ANA663> ✈️ (13:10着) 長崎空港 (13:40発) 🚗 ◆大村車両基地(見学・約90分) 🚗 新大村駅 🚗 [西九州フリーきっぷを使って各自移動・ご希望の方は長崎市にて開催中のランタンフェスティバルもお楽しみ いただけます] 博多駅 🚗 八百治博多ホテル	食事なし
2日目	ホテル(各自負担) 福岡空港 (9:55発) <ANA1076> ✈️ (11:30着) 羽田空港 (12:00発) 🚗 羽田エクセルホテル東急(昼食・ 空飛ぶてりやきライスバーガー・約40分) 🚗 ◆ANA Blue Hangar(格納庫ならびに空港で働く車両の見学・約90分) 🚗 ◆ANA Blue Base(見学・約60分) *1 🚗 (17:30頃着) 羽田空港	朝食

【参考】

大村車両基地とは：

2022年9月23日、西九州新幹線(武雄温泉駅~長崎駅)の開業に伴い誕生しました。西九州新幹線かもめ6両編成のN700Sが配置され、敷地面積10万9000㎡の車両基地で、定期的な検査・修繕を行う施設です。

ANA Blue Hangarとは：

羽田空港の整備地区にある、最新設備を備えた航空機整備用の格納庫です。広大な空間ながら柱がないことで広くフラットな作業スペースを確保し、省エネルギーにも配慮しながら機能性と経済性を実現するように設計されています。

ANA Blue Baseとは：

ANAグループ職員のための総合訓練施設で、羽田空港に近い東京都大田区エリアにあります。パイロットや整備士、客室乗務員、地上係員、グランドハンドリング係員などの訓練に使用しており、安全や運航品質の向上、イノベーション推進、働き方改革、ANAブランドの発信の拠点となっているほか、施設自体に省エネ性が高い最新設備を備えているのが特徴です。

以上